



## 「婦人科(女性外来)の診療開始に当たって」

女性の一生は、人生 80 年代後半の時代を迎えております。人生 80 年以上を元気で長生きするために、更年期の捉え方、そして更年期以後の過ごし方が大きな意味を持つようになりました。更年期は、女性ホルモンの低下によって、身体的にも精神的にも大きな変動をきたし、体と心に変調が起こります。更年期障害は、確かに命に関わる病気ではありません。しかし、本人にとっては、毎日に支障をきたすほど辛い病状を起こすこともあります。自分で我慢しないで、積極的に医療機関を訪れてください。そして、周囲の人は理解してあげることです。

同時に、元気で長生きできるためには、自分で歩けること、寝たきりにならないことが必要です。そのためには、寝たきりの原因となる骨粗鬆症の予防と治療が重要な意味を持てきます。

更年期障害や、月経前になると気分の落ち込みが激しくなり引きこもりがちになる月経前症候群を始めとする月経に伴う慢性的症状（月経困難症、月経関連片頭痛）、さらに不安、うつ症状など女性の生活の QOL を損なう疾患や異常の発症には、ストレスが関わっていることが多いとされています。これらの治療には心と体を同時に診る心身医学的配慮が必要です。

以上を踏まえて、埼玉東部診療所での婦人科(女性外来)の診療内容を次の通りといたします。

1. 更年期障害の治療
2. 骨粗鬆症の予防と治療
3. 女性特有の婦人科的症状および疾患の相談と治療

診療開始日は、2018 年 11 月 10 日(土)、診療時間は、毎週土曜日午前 9:00 ～ 11:30

担当医師：栗下 昌弘先生

※但し、埼玉東部診療所では、一般的な婦人科検査（乳がん検査、子宮がん検査、超音波検査など）は行わず、検査が必要と思われる場合は、近隣の婦人科医療機関をご紹介して、検査を受けていただきます。